

JB News Letter

No. 22
2025.03

JB Print Techno

株式会社
ジムブレーション

ジムブレーション編集・発行の情報誌。今ホットな話題やお得な情報をお届けします！



現代には簡単にキレイで高画質な写真が撮影できるスマートフォンや一眼レフカメラ等が普及していますが、若い世代には『オールドコンデジ』と呼ばれる古くてコンパクトなカメラが人気を集めています。今になって2000年～2010年代に登場したカメラが人気を博している理由は“エモいから”だそうです。“エモい”とは、『感情が動かされること(Emotional)によって何とも言えない気持ちになること』で、若い世代を中心に浸透している俗語です。粒子の荒さが味わいのあるレトロな雰囲気になり、懐かしい風景や思い出を呼び起こすような温かみのある写真が撮影できるオールドコンデジは、トレンドを牽引する若い世代の人気が高いことから再注目されています。また、オールドコンデジと同様にレトロな風合いの写真が撮影できるインスタントカメラの『チェキ』や、フィルムカメラの『写ルンです』は、日本だけでなく海外でも人気があります。どちらも海外で購入するより安価なため、訪日客が土産にするケースも見られ入荷してもすぐに売り切れてしまうそうです…。

今月の

今日は何の日? 3/11

いのちの日

『災害時医療を考える会(Team Esteem)』が制定。日付は、多くの命が失われた東日本大震災が2011年(平成23年)3月11日に発生したことから。命の尊さ・大切さを考え、震災で学んだことを風化させず、来る次の災害に備えることを目的としている。9月1日(防災の日)に防災訓練が行われるように、3月11日には災害時医療の改善を図るとともに、健康・医療・災害時の体制などを考える機会にしたいという思いから制定された。

東日本大震災から14年。 避難所で発生する性被害から“防災”を考える

2011年の東日本大震災発生をきっかけに、困難を抱える人たちの悩みを傾聴しながら具体的な問題解決を図ることを目的に、2012年3月に『よりそいホットライン』が開設されました。代表的な相談内容は家族問題・心と体の悩み・人間関係・仕事の悩み等ですが、相談者のおよそ6割が女性で、女性特有の相談として圧倒的に多いのがDVや性的虐待などの性暴力の被害です。2013～2018年に女性専用ラインに寄せられた相談を集計したところ、東日本大震災で被災した岩手県・宮城県・福島県からの相談の5割以上が性暴力に関する相談で、10～20代の若年層の被害も、全体の4割に上ったということです。

避難所で起きた性被害の特徴として以下の3つがあります。

①対価要求

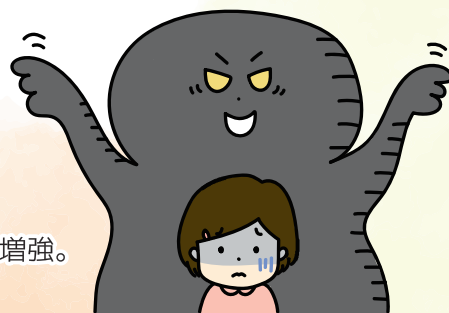
食料やの生活物資等の支援や生活の世話などの見返りとして、性的関係を要求する。

②支配欲の増強

災害のストレスで「相手を思いどおりに操りたい」という支配欲が増強。

③同調圧力による二次被害

「災害で困っているときに性被害が起こるはずがない」という思い込みや、「みんなで支え合わなければいけない事態において被害を口にするべきではない」「命があるだけありがたいと思え」と誰にも被害を理解されないため、助けをもらうことができずに苦しむ。



これらの性被害は、避難所の問題点を解決することで軽減できると言われています。避難所は、男性が大半を占める自治会役員が運営していることが多いため、運営代表者の多くが男性です。そのため、女性の要望が優先されなかったり、性被害への理解が少なく対策がおざなりになることがあります。また、避難所にはプライベート空間がなく、着替えに困ったり家族構成が知られてしまったり等で、特に一人暮らし・母子家庭の女性は性被害の対象として目を付けられやすくなってしまいます。

避難所の運営に女性が関わり、女性の意見を取り入れてもらうようにするのも良いですが、すぐに対応することは現実的でなく、また災害はいつ発生しても不思議ではないため、まずは各自でできることから対策していくと良いでしょう。備えている防災グッズを見直し、防犯ブザーやホイッスル等のもしもの時に助けが呼べるもの、着替え時の目隠しにもなる多機能ポンチョを追加しておくことより安心です。

避難所での性被害は、女性だけでなく子どもや男性にもリスクがあります。性被害を防ぐには、男性と女性の双方が協力し合うことが大切なのです。

参考：NHK みんなでプラス『災害時の性被害 東日本大震災で見えてきた被災地の声』

トヨクモ！防災タイムズ『避難所では性被害対策が不可欠 | 避難所生活で発生する性被害を防ぐ』

K 社長のつぶやき

第93回 『運が“強い”人の特徴』

本を読んだり講演を聞いたりすると思うことがあります。それは、偉業を成し遂げる人や功を成しとげる人は一様に『運』が強いということです。運が“良い”のではなく運が“強く”、偶然や運を自ら引き寄せたり手繰り寄せるといった能力を持っています。そして、運が強い人たちには共通の特徴があります。

①『無邪気』=人は生まれた時は無邪気ですが、歳を重ねると『無』が次第に摩滅して、ほとんどの人は邪気にまみれてしまいます。しかし、運の強い人は邪気が全くありません。

②共感力の質が違う=共感という言葉の意味をはき違えている人が多くいます。共感とは、同情や憐憫(哀れ悲しむ)ではなく、ましてや自分の気持ちを押しつけるものではありません。相手にそっと寄り添い共感する、すると次第に自分の姿・形が相手の姿・形に変わっていく…つまり、共感の質が高い人は二人称/三人称ではなく『一人称』なのです。

